

2013年2月1日

『エリザベス・ギヤスケル没後 150 年記念論文集』出版計画および投稿依頼について

日本ギヤスケル協会会長 多比羅真理子

会員のみなさま、先にお知らせしました標記出版計画につきまして、詳細をお知らせいたします。多数のかたのご応募をお待ちしております。

① 今回は、中・短編を中心とした論文集とします。担当希望作品を第3希望まで別紙「調査票」（協会ホームページからも download できます）にてお知らせください。複数の作品を扱われる場合は、もっとも中心となる作品を基準にお選びください（長編との比較は可能です）。締切は2013年3月末日。提出先は編集委員長です。

② 質的水準を保つため、編集委員による査読を行います。

③ 科研費に応募します。不採択の場合でも、執筆者負担金は一人あたり5万円以内に抑える予定です。

④ 出版社：大阪教育図書

⑤ 出版予定頁数：約350頁

⑥ 出版予定部数：500部

⑦ 日程

投稿者募集開始：2013年2月

投稿者募集締切：2013年3月末日（「担当希望作品調査票」をE-Mail添付か郵送で編集委員長へ）

担当作品の確定：2013年4月末日

執筆期間：2013年5月－2014年5月

原稿提出締切：2014年5月末日（E-Mail添付、もしくは、印刷したものを2部郵送。いずれも編集委員長宛て）

編集委員による査読の終了：2014年6月末日

執筆者による最終稿の提出：2014年7月末日（Wordで作成した電子データをE-Mail添付か郵送で編集委員長へ）

編集委員長による科研費申請：2014年8－9月

科研費結果通知：2015年2月ごろ

編集委員長による索引、版下の作成：2015年3月－9月

版下を出版社に渡す：2015年10月初め

出版日：2015年11月12日（ギヤスケルの命日です）

⑧ 執筆要項は、以下のとおりです。

## 執筆要項

1. A4用紙（縦）に縦書き50字×19行に書式設定。フォントはMS明朝とTimes New Romanを用い、大きさは11ポイント。Microsoft WORDで作成したテンプレートが協会のホームページに用意してあるので、利用されたい。
2. 原稿の長さは、タイトルや注など全てをあわせて9,000字（縦書き50字×19行×10頁〔印刷10頁〕）以内。
3. 使用言語は原則日本語。引用も可能であれば日本語を用いる。
4. 使用テキストは、Pickering版が望ましいが、他の版でもかまわない（E-Textは参考程度に）。
5. 原稿はWordファイルをE-Mailに添付するか、印刷したもの（手書きでも可）を2部提出。編集委員の査読を経たのち、掲載を承諾された場合、最終稿（Wordファイル。**手書きのかたは、どなたかに依頼して、Wordファイルにしたもの送る**）を電子メール添付、または郵送で提出する。送付先はいずれも編集委員長。
6. 原稿の提出締切は2014年5月末日（最終稿のそれは同年7月末日）。
7. 書式の詳細（送りがな、算用数字・漢数字の使い分け、記号の使用など）については、「共同通信社記者ハンドブック新聞用字用語集」（第12版）にしたがう。論文中の英文部分に関しては、*MLA Handbook for Writers of Research Papers, 7th ed.*に準拠する。
8. 編集委員長が完全版下（出版社に提出する印刷用最終原稿）を作成するため、**最終稿提出後、執筆者による校正はないので、留意されたい。**

### 編集委員

足立万寿子・石塚裕子・市川千恵子・\*大野龍浩・閑田朋子・木村晶子・  
鈴木美津子・田中孝信・多比羅眞理子・玉井史絵・松村豊子

(\*は委員長)

### 編集委員長連絡先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1 熊本大学文学部

大野 龍浩

PHONE: 096-342-2450 (Office)

E-MAIL: eph0429@kumamoto-u.ac.jp